

◆次第：①開会、②前回の開催概要、③議事、④その他

◆議事：①市民ワークショップ「タカラ ミライ ラボ」提言書について、②市民アンケート調査報告書について、③基礎調査報告書について、④総合計画の構成について

◆審議概要：

### ①市民ワークショップ「タカラ ミライ ラボ」提言書について

- 仕事も住まいも、宝塚に一生いると思っていない若い人もいる。そこに課題があるのではないかな。  
→次の世代に良いまちを残すという思いを大切にしながら、議論していければと思う。
- 人口を増やすためにどうするかというのが一番の眼目だと思う。
- 大学食堂の市民利用について、すでに大学が取り組んでいるが、さらに広げるといふことか。  
→そのとおり。甲子園大学の取組を知らない人もいっぱいいる。「わたしの舞台 たからづか」には、市民一人ひとりの活躍の場を確保するとともに、自らも活躍の場をつくり、市民が主体となってまちづくりをするという思いが込められている。
- 提言書は五十数人の市民で考えたもので、完璧を目指すよりも、自分たちの思いをいかに凝縮できるかという視点で作成されたもの。提言書を踏まえ、足らずの部分を補い、基本構想を完成させたい。
- 分野の専門的な目から見ると、市としての文化・芸術についてのポリシーが浸透していないことが本提言書を見て分かった。市民目線の考えが分かり、大変意義深い提言である。  
→データを用いないで議論した。自分の身の回りのことで、思いを持ち寄ってまとめている。ずれていたり、抜けているところもあるかもしれないが、市民の素直な意見として受け止めていただきたい。
- 残念なところに、子育て関連の情報発信が不足しているところがあるが、どうすれば良いか議論したのか。  
→様々な支援策がすぐに分からないので、市ホームページで分かりやすく伝えるという意見があった。
- 子どもにも分かるような情報発信とあるが、どのような議論であったのか。  
→子どももまちづくりに参加することが重要であり、子どもが関心を持てるような情報発信が必要と話し合った。
- 自然・環境系で、ボランティアが増加するとある。阪神・淡路大震災の頃のボランティアと今のボランティアの形は違うと思うが、どのようなボランティアを想定しているのか。  
→ここでいうボランティアは、自然に関わるボランティアが増えたら良いというまとめ方である。
- 市民ワークショップの手法は初めての試みであり、意義深かったと思うので、検証し、次に生かしていただきたい。
- 協働のパートナーとして、市民ワークショップのメンバーと協働を続けていくことも重要と思う。
- 提言書は、アンケートと異なり、単なる個人意見ではなく、グループ意見としてまとめられたもの。そのあたりを審議会ですべて受け止めるかという観点をもって、次回以降、審議していきたい。

### ②市民アンケート調査報告書

- アンケートは2種類あるが、対象者はそれぞれ別か。  
→それぞれ別である。対象者が重ならないよう抽出し、各3千人、計6千人にアンケートを実施した。

- 地域カルテでは、将来推計人口が楽観的な場合、中位、悲観的な場合の 3 パターンが示されている。今後議論する上では、3 パターンある方が良いと思う。

### ③基礎調査報告書について

- 下水道整備率、污水管整備率の意味を教えてください。  
→下水道整備率は計画面積に対する整備済み面積を示し、污水管整備率は整備区域の污水管の計画延長に対する整備済み延長を示す。西谷は下水道整備区域に入っていないので、合併処理浄化槽で処理している。

### ④総合計画の構成について

- 厚いものと簡単な冊子の 2 つを作ってはどうか。  
→通常は概要版を作成する。尼崎市は読本という形で、別のものを作っている。周知の仕方は次の段階で議論できればと思う。
- 第 6 次総合計画は、「基本計画」は市が中心となりとりまとめ、「基本構想」を市民と行政、みんなで共有しようという 2 段構えである。
- 策定方針で、分かりやすい計画づくりとある。表現を柔らかくするなど、市民が読みやすいようにするというのもテーマだと思う。
- 尼崎市は「はじめに」、「まちづくり構想」、「まちづくり基本計画」が明確に区分されていて分かりやすいと感じた。
- 地域ごとのまちづくり計画も入ってくるので、どう入れるかということも考えないといけない。
- 尼崎市は冒頭にキャッチコピーがあり、堅苦しくない。あまり堅苦しいと読まない。こういう演出があっても良いのではないか。  
→尼崎のキャッチコピーは、計画を策定してから、公募を行い出てきたものである。また、計画期間中に市長が代わることもありえるので、市長あいさつを別紙としたことが特徴である。
- 総合計画の策定は、市職員の能力を高めるもので、データづくりを通して、総合的な力を育てる機会でもあると思う。文章が堅めであっても、精度の高いデータに基づいた未来像を作っていただく方が良い。
- まちづくり基本条例に示されている基本理念は 4 つであるが、現総合計画の基本目標は 6 つある。リンクさせることを考える必要がある。
- 本日いただいた意見を参考に、事務局がたたき台を作成し、次回議論することとする。